



日本屈指のステンレスメーカーであるモリ工業株式会社に入社して10年目、生産管理システムを担当する竹原俊介さん。

竹原さんは学生時代から製造業に興味があったことや、地元で働きたいという思いもあり、同社に入社。配属先はOA部で業務改善・効率化を目的としたプログラム作成などのシステム開発・保守に携わっています。

同社ではシステムの多くを自ら美原工場の生産管理システ

ムをまかされました。当時、人手や手間がかかつていて業務について、先輩に助けられながらも自分で組み上げたプログラムを通じて、業務の効率を上げることができたそうです。この時の成功体験をもとに、その後も問題解決に取り組んできました

が、先輩たちが築き上げてきた仕事のノウハウをマスターするのは難しいとのこと。それでも、苦労しますが、それ 자체を楽しめるようになりました。自分で



取材協力

モリ工業株式会社 河内長野工場

楠町東 1615 ☎ 54-1121(代)
<https://www.mory.co.jp/>

1929年創業、ステンレス管を中心に製造を手掛け、熱交換器、物干竿などの加工品のほか、丸棒や形鋼などの開発にも取り組む日本屈指のステンレスメーカー。

と考え、実現できることが楽しいし、やりがいを感じています。また、OA部はコミュニケーションが良好で、風通しの良い職場で

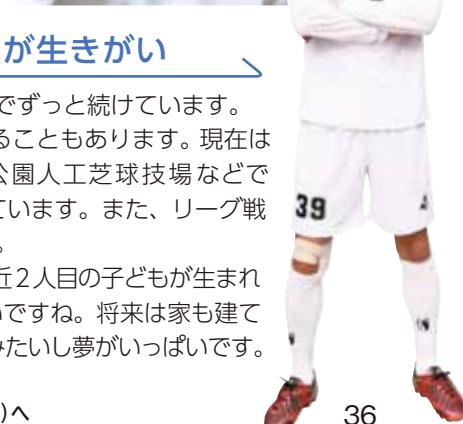
ある」とも仕事のノウハウを習得するうえで大切だと感じています」と竹原さんは語ります。今では会社の根幹となるような仕事をまかされるようになり、常に生産性の向上を考え、仕事の効率化に取り組んでいます。

今後は、後輩の育成にも力を入れ、会社の発展を目指していくと熱く話していました。



ずっと続いているサッカーが生きがい

小学生の時から、サッカーが大好きでずっと続けています。選手だけでなく、コーチとして教えることもあります。現在は2つのチームに所属し、下里運動公園人工芝球技場などで週に4、5日は練習などで汗を流しています。また、リーグ戦では上位を目指して頑張っています。車も好きでよくドライブしますが、最近2人目の子どもが生まれたので、休日は家で過ごすことが多いですね。将来は家も建て替えたいし、いろいろな車にも乗ってみたいし夢がいっぱいです。



かわちながの

ハタライフ

KAWACHINAGANO HATA-LIFE

河内長野市で働く若者の仕事と暮らし

4

問題を解決することを楽しむ

モリ工業株式会社の竹原俊介さん

